

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
佐井村	原田地区(原田集落)	令和3年3月30日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	24 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	15 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	11.3 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.1 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	6.2 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.2 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

原田地区の耕作者のほとんどが60才以上で後継者が未定・不明である。地区では稲作と牧草が主となっており、牧草については畜産農家との契約のもと、管理されているため、畜産農家の後継者の確保についても考える必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

新規就農者などを希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	A	野菜	0.3 ha	野菜	0.5 ha	原田集落
			ha		ha	
計	1人		0.3 ha		0.5 ha	

※属性が空欄となっている2経営体については、今後認定農業者に認定する方向で検討中。

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
佐井村	中道地区(古佐井集落)	令和3年3月30日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	18 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	10 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	1.5 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.6 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.9 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	7.6 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

古佐井地区の耕作者の9割が60才以上で後継者未定・不明の農業者が多い。弘前倉庫(株)が耕作放棄地となっている農地の地権者と農地中間管理機構を通して契約を行い耕作をしている為、耕作放棄地解消の為に、弘前倉庫(株)と地権者との仲介に努めていく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

新規就農者など入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A(株)	果樹	6.4 ha	果樹	14.0 ha	古佐井集落
			ha		ha	
計	1人		6.4 ha		14.0 ha	

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
佐井村	川目地区(川目集落)	令和3年3月30日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	5 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	3.1 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	3.1 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.1 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.1 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>川目地区の耕作者のほとんどが60才以上で後継者未定・不明の農業者が多い。後継者の目途は立たないが、地区内の耕作面積については維持していくためにも、新規農業者の紹介等行っていく必要がある。</p>
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>新規就農者など入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	A	野菜	1.9 ha	野菜	2.0 ha	川目
			ha		ha	
計	1人		1.9 ha		2.0 ha	

※属性が空欄となっている経営体については、今後認定農業者に認定する方向で検討中。

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
佐井村	野平地区(野平集落)	令和3年3月30日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	212 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	147 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	60.3 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	50.4 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	9.9 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.5 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

野平地区の耕作者の7割が60才以上で後継者未定の農業者。耕作者はむつ市夔川地区の人によって行われている。事業が行われることとなった際にはむつ市との連携・協力が必要となる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

新規就農者などを希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	野菜	10.5 ha	野菜	11.0 ha	野平集落
認農	B	野菜	2.7 ha	野菜	2.7 ha	野平集落
認農	C	野菜	0.1 ha	野菜	0.1 ha	野平集落
認農	D	牧草	9.0 ha	牧草	9.0 ha	野平集落
到達	E	牧草	2.7 ha	牧草	2.7 ha	野平集落
計	5人		25 ha		25.5 ha	